

子どものしつけは 家庭で……

人づくりの基本は家庭にあります。

しかし近年、社会環境や価値観の変化の中で、家庭の教育機能が低下しているといわれています。

特に、家庭での親子の「ふれあい」が少なくなるとともに、子どもに適切な「しつけ」をす

る場や機会が乏しくなっているのが現状です。

本来「しつけ」は、保育園や学校に依存するものでなく、親が家庭において責任を持って行うべきものです。家庭における基本的な「しつけ」が十分に行われなかったり、適切でないために、子どもたちが学校や社会

での生活に適應できず、その結果優慮される問題が数多く生じています。そこで、未来を担う児童青少年の健全育成には、家庭における「しつけ」がもっとも大切ではないでしょうか。

聞きあきた母のことば

○お母さんはあんなだけが頼りよ。だからしつかりしてね。

○だれのおかげで、ここまでできたと思っているの。

○おかあさんは、こんなにいっしょうけんめいなのに。

○おかあさんの気持ちも知らないで。

わがやの
プリンス・プリンセス



一歳五カ月になる悦子ちゃん、二つ違いのお姉ちゃんと一緒に砂遊びをするのが大好きとか。

のできばえです。

昭和五十七年九月六日生まれ

谷中 林 一敏さん 二女

わが家のプリンス・プリンセスを募集しております。

広報係までお寄せください。

Tel ④ 1042
(有) 214101

慶 弔

十月十五日現在受付 (敬称略)

◎ こんには赤ちゃん

部 落 出生 赤ちゃん 父親 母親
傍示戸 12/17 齊藤 惠美 実 みつ江
篠本三三 12/14 増島 紀弘 弘 惠美子

橋 場 12/15 椎名 美恵 章博 和代
尾垂五区 12/21 伊藤 富恵 都樹雄 栄子

新 井 12/15 伊藤 容子 登 富美子
宮 内 12/25 藤代 京世 陽市郎 きくよ

芝 崎 12/20 五木田 裕 泉 洋子
尾垂五区 12/28 鶴ノ澤くみ 昇治 安子

作間内 1/2 向後 花菜 隆輝 弘子

◎ いままでもお幸せに

町の人口・世帯数

〈1月1日現在〉

人 口	男	5,820 (-7)
	女	6,019 (-13)
	計	11,839 (-20)
世帯数		2,924 (-2)

○お母さん知らないから、すきにしなさい。
○なんでもおかあさんに話してね。
○前はほんとうにいい子だったのに。

表紙は語る

農閑期を利用してのなわな。最近では少なくなりました。

傍示戸の齊藤淳子さんは、なわなを始めて二十七年にもなるそうです。多い時には一個10Kから11Kもあるなわを一日に十個位なうそうです。

秋に取り入れたわらを昔の手こきの脱穀機ですくい、三本から五本位のわらをあみ口にさし込み、なわをなっている齊藤さんの目は真剣そのもの……

少し位の機械の故障は自分で直すほどのベテラン、近所の人話によると「齊藤さんはなわのないの先生ですよ」と話していました。

編集後記

一月十九日の午前中から降りだした雪で、一面白銀の世界になってしまった。

昭和四十三年以来、十六年ぶりの大雪となった。普段から雪に対して知識が薄いだけに交通網は一早く、まひしてしまいました。

翌二十日は道路が凍結しているせいか通勤の車は普段の半分以下、体を丸めて小走りで出勤する人の姿が目立ちました。

そんな姿と対象的なのが子どもたち。雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり思う存分、久しぶりの大雪に喜びをかくしきれないようでした。

ご意見等お待ちしております。
Tel ④ 1042 (有) 214101